



テーマ

Theme

古い道具と昔の暮らし

学校・園名

School name

湖南省立石部南小学校
(3年生)

講師等

Lecturer etc.

滋賀県立琵琶湖博物館

実施日

Date

平成26年2月6日

教科等

Subject etc.

社会

授業

Class

琵琶湖博物館には「生活実験工房」があり、児童は3つのコーナーに分かれて、昔の暮らしを順番に体験しました。

【石うすで粉ひき】講師は、きな粉や小麦粉を例に、石うすは食べ物を作るために使っていた道具であることを説明されました。お米を石うすの上部にある穴に入れ、児童が交代で石うすを回していきました。できた米粉は団子をつくる材料になります。

【手押しポンプ】ポンプを使って、井戸の水を汲み出す体験です。児童は、水をバケツに汲んで運ぶ体験もしました。お風呂の水をいっぱいにするには、約20杯のバケツの水が必要だそうです。

【足踏み脱穀機】脱穀とは、稲からもみをとることです。昔は、手で一つひとつとっていたとことで、せんば扱きなど、現在に至るまでの道具の変遷を講師は説明されました。その後、児童は一人ずつ手に稲を持ち、足で踏板を踏み、足踏み脱穀機の体験をしました。

最後に、講師の方は「昔の道具を通して、昔の暮らしを知り、やってみることで今とは違う大変さを感じてほしい。それと同時に、昔の人は、工夫をして生活していたということも感じてほしい。」とまとめの話をされました。



感想

Impression

児童より

Impression from Children

■石うすは、クラスの24人が1分くらいずつ回したのに、ちょっとしか米粉は出なかったの、昔の人はくろうしたんだなあと思いました。ふるをわかすために、バケツ20ばいぐらいの水をくむと聞いておどろきました。

■昔の暮らし体験をして、ポンプが楽しかったです。石うすは、回すのがたいへんでした。だっこくは、タイミングが難しかったです。昔の暮らしと今の暮らしはぜんぜんちがうし、たいへんだったんだなあと思いました。

学校より

Impression from school

子どもたちは、昔の暮らしを実際に体験でき、とても満足していました。楽しいという思いと一緒に、昔の人がしていた生活の工夫をしっかりと学べたのでよかったです。

しが学校支援センターが、琵琶湖博物館とつないでくださったおかげで、スムーズに打ち合わせができました。今後も学校支援メニューを活用していきたいと思います。

講師より

Impression from lecturer

〈児童へのメッセージ〉

■昔の道具の様子や使い方に興味深く、意欲的に活動できました。この活動を通して、今の自分たちの生活は、昔の人の工夫や努力の上に成り立っていることも学んでくれることを願っています。

■今のわたしたちは、昔の人が夢見た、魔法のような生活をしていると言えます。そのような便利な生活をしているからこそ、昔の暮らし体験の苦労を思い出して、物を大切に作る気持ちを少しでも持って暮らしてもらえると嬉しいです。

■昔の生活は大変ですが、家族が協力し合って、様々な工夫をしながら暮らしています。今の生活は便利ですが、誰がやっているのかが見えにくく、「当たり前」だと勘違いしやすいです。その違いを比べながら学習を進めてほしいと思います。